

# アートフォースジャパン(5072)

地盤調査・地盤改良工事・地盤品質保証のワンストップでの提供、国内有数の種類の地盤改良工法を有する  
TOKYO PRO Market | エンジニアリングサービス | 会社紹介

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 5072:JP | REUTERS 5072.T

- 主力の地盤改良事業のほか、住宅建築、営繕工事・公共工事を行う建築事業、およびその他事業の3事業セグメントを展開する。
- 地盤調査、地盤改良工事、地盤品質保証のワンストップでの提供、および国内有数の種類の地盤改良工法を有することを強みとする。
- 戸建て住宅業界に係る人口減の逆風はシェア拡大で吸収可能。また、施工前段の造成からの市場開拓で収益基盤を強化する方針。

## What is the news?

同社は、地盤改良事業、建築事業を主な事業として取り組み、①地盤調査、地盤改良工事、地盤品質保証の各業務を提供する「地盤改良事業」、②住宅建築、営繕工事・公共工事を行う「建築事業」、③建材レンタル・リースやクレーンなどを取り扱う「その他事業」の3事業セグメントで構成される。2019/12期の売上構成比は、地盤改良事業が78.5%、建築事業が15.2%、その他事業が6.3%である。

事業の特徴として、地盤調査、地盤改良工事、地盤品質保証をワンストップで提供することにより調査後の施工内容や顧客ニーズに関し調整および情報共有ができること、および、国内有数の20を超える地盤改良工法を有しており、どのような地盤状況でも地中の状況やロケーションに対し最適化された地盤改良工事を提供できることの2点が挙げられる。

2020/12期1H(1-6月)は、売上高が22.04億円(対前期会社計画比50.6%)、営業利益が39百万円(同57.4%)、経常利益が35百万円(同72.9%)、純利益が23百万円(同100%)。セグメント別業績は以下の通り。①地盤改良事業は、売上高が16.52億円、セグメント利益が1.21億円。コロナ禍による工事延期および完成工事件数減の影響を受けた。②建築事業は、売上高が4.04億円、セグメント利益が1,286万円。コロナ禍による着工延期および公共工事の工事原価上昇が響いた。③その他事業は、売上高が1.47億円、セグメント利益が837万円。新規貸出資材導入が増収に寄与した一方、導入経費増に繋がった。(2019/12期までは中間連結財務諸表を作成していないため、前年同期比を表示していない。)

## How do we view this?

2020/12通期の会社計画は、売上高が前期比3.6%減の43.53億円、営業利益が同35.4%減の68百万円、経常利益が同53.6%減の48百万円、当期利益が同65.4%減の23百万円。コロナ禍の影響に関し、地盤改良事業、および建築事業の営繕・住宅建築請負工事は工事延期などによる影響を受けることが想定される一方、建築事業の公共工事のほか、その他事業の建設仮設材貸出も公共工事主体のため影響を受けにくいと見られる。

地盤改良事業が属する戸建て住宅建設業界は人口減の逆風に直面しているが、シェア拡大で吸収できると見られる。また、施工の前段である造成段階からの市場開拓により収益基盤を強化する方針である。

## 業績推移

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F
売上高(百万円)	3,991	4,653	4,515	4,353
経常利益(百万円)	59	201	104	48
当期利益(百万円)	15	137	68	23
EPS(円)	62.26	546.55	274.61	95.13
PER(倍)	56.22	6.40	12.75	36.79
BPS(円)	2,170.56	2,618.64	2,916.18	-
PBR(倍)	1.61	1.34	1.20	-
配当(円)	-	-	-	-
配当利回り(%)	-	-	-	-

(※)2017/10/2付で普通株式1株につき10株、および2020/7/31付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施したが、2017/12期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPSを算定している。

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)  
株価(円) 3,500 2020/10/21(基準値)

## 会社概要

1990年に代表取締役社長の山口喜廣氏が静岡県伊東市で、移動式クレーンのリース業を目的とする会社として前身の有限会社アートクレーンカンパニーを設立。1996年に現在の主たる事業となる地盤改良工事業に進出後、2010年に建設業許可を取得。2018年に株式会社アートフォースジャパンへ商号を変更した。

同社は連結子会社として、セキスイハイム東海の本体工事店である株式会社アクシス、土留めパネルリースを手掛けるクラウン工業株式会社、および建設・土木工事を営む株式会社塚本工務店の3社を擁し、地盤改良事業、建築事業、その他事業の3事業セグメントを展開する。

2020/10/21にTOKYO PRO Marketに上場した。

①主力の地盤改良事業は、「地盤調査」、「地盤改良工事」、および「地盤品質保証」の各業務をワンストップで提供することにより、調査後の施行内容や顧客ニーズについて調整および情報提供ができ、業務間での相乗効果を発揮できることを強みとしている。

②建築事業は、「住宅建築」と「営繕工事および公共工事」から構成される。住宅建築は子会社のアクシスがセキスイハイム本体工事店を運営。営繕工事および公共工事は、子会社の塚本工務店が工場および研究施設等の営繕工事、ならびに小田原市および神奈川県で土木の公共工事を行っている。

③その他事業は、「建材レンタル・リース」と「クレーン」から構成される。建材レンタル・リースは子会社のクラウン工業が茨城県を中心に土留めパネル等建設用仮設資材を主にレンタル・リースしている。クレーンはアートフォースジャパンが静岡県東部や神奈川県西部を主としたエリアとして移動式クレーンとオペレーターで現場へ赴き、建築工事や土木工事での荷物の吊り上げ作業を行っている。

## 企業データ

主要株主(2020/9/18) (%)

1.山口 喜廣	58.17
2.株式会社YY	30.28
3.山口 寧子	7.97

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

## アナリスト

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。